

三浦文彰

Fumiaki Miura

ヴァイオリン・リサイタル



© Yuji Hori

ピアノ: イタマル・ゴラン

piano: Itamar Golan



プログラム

モーツァルト

ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 K. 306

Mozart: Violin Sonata in D Major, K. 306

R. シュトラウス

ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

R. Strauss: Violin Sonata in E Flat Major, op. 18

山中 淳史

新作(2018、三浦文彰委嘱作品、初演)

Atsushi Yamanaka:

New Piece (2018, commissioned by F. Miura, premiere)

チャイコフスキー

ワルツ・スケルツォ ハ長調 op.34

Tchaikovsky: Waltz Scherzo in C Major, op. 34

チャイコフスキー

感傷的なワルツ op.51-6

Tchaikovsky: Sentimental Waltz, op. 51-6

サン=サーンス

序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28

Saint-Saëns:

Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, op. 28

※演奏曲目・曲順が変更になる場合がございます。

2018年 2月26日(月) 18:30開演
(18:00開場)

岡山シンフォニーホール

主催/岡山県音楽文化協会 RSK山陽放送 山陽新聞社

全席指定 5,800円(税込) (音協会員 5,500円(税込)) ※未就学児の方のご入場はお断り申し上げます。

チケットのお支払いは、郵便振替もご利用いただけます。(振込先番号:01200-4-11083)

チケット
発売日
10/27
(金)

プレイガイド [岡 山] 岡山音協、ぎんざや、岡山シンフォニーホールチケットセンター、岡山市民会館、山陽新聞社サービスセンター
[倉 敷] インディスク(倉敷天満屋4F)
[その他] チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:345-771) ローソンチケット 0570-084-006(Lコード:62423)

■お問い合わせ/岡山音協(086)224-6066 岡山市北区田町1-3-1(産業会館3階) ■営業時間:平日9~17時/土日祝・休み
コンサートの情報はインターネットでもご覧いただけます。URL▶<http://www.okayama-onkyo.gr.jp/>

岡山シンフォニー
21世紀の彩



Profile

三浦文彰は、2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に大きな話題となった。

東京都出身。両親ともにヴァイオリニストの音楽一家に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め、6歳から徳永二男氏に師事。

2003年、04年と全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第2位。

2006年4月、ユーティメニューイン国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第2位。

2009年10月、ハノーファー国際コンクールにて史上最年少で優勝。同時に、聴衆賞、音楽評論家賞も受賞。地元紙では「確かな技術と、印象的なヴィルトゥオーゾ性あふれる心温まる演奏は、国際審査員や音楽評論家の評価を得ることどころか、聴衆の心をもつかんだ」と賞賛した。また、The Strad誌は、「驚くべきその演奏はハノーファー国際コンクールのすべてを吸い取った」と評した。

これまでに、モスクワにてオレグ・カガメモリアルフェスティバル、ブラウンシュバイクフェスティバル、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、マントン音楽祭、ラクリン&フレンズ音楽祭、メニューイン・フェスティバルなどに出演。

国内主要オーケストラはもとより、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ミルウォーキー響、オレゴン響、ユタ響、ウィーン室内管、ニュルンベルク響などと共演し、国際的な活動を展開している。

2012年には、ブラハマフィルとの日本ツアー、2013年4月にはシュトゥットガルト放送響との東京公演を行った。2013年は、ベンデレツキ80歳記念演奏会にも出演。2014年は、ループでのリサイタルでハリウッドデビューを果たし、ローザンヌ室内管、モントリオール室内管との共演も大好評を博した。

2015年9月には、リントゥ指揮ベルリンドイツ響との共演を得て、チャイコフスキーとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を収録し、エイベックスよりリリース。最新CDは、2016年にリリースした「名曲コレクション」。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽のヴァイオリンソロを演奏。

2009年度第20回出光音楽賞受賞。

これまでに、ザハール・プロン、ジャン=ジャック・カントロフ、チョーリヤン・リン、ハヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。(公財)明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を得て、ウィーン私立音楽大学に入学、ハヴェル・ヴェルニコフ氏、ジュリアン・ラクリン氏のもとで研鑽を積んだ。

使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作「Viotti」、ヴィオラは日本ヴァイオリンより貸与された1780年製ストリオーニスクール Ex-Rachlinである。

(2017年6月現在)

三浦 文彰

Fumiaki Miura

© Yuji Hori

イタマール・ゴランは、現代を代表する傑出した音楽家達とのパートナーシップを20年以上の永きに亘り築いてきた。その演奏は批評家から高く評価され、世界の著名コンサートホールに度々出演する引継ぎのピアニストのひとりとなっている。リトアニアの首都ビリニュス生まれ。1歳でイスラエルに移住し、音楽の勉強を始める。7歳でテルアビブにて初めてのコンサートを行う。

アメリカイスラエル文化財団より繰り返し奨学生に選ばれ、エマヌエル・クラソフスキーや室内楽の恩師であるチム・タウプに師事した。その後ボストンのニューイングランド音楽院より全額免除の奨学金を得、レナード・シュアのもとで研鑽を積んだ。当初より室内楽に傾倒する一方で、ソリストとしても活動し、これまでにズーピン・メータの指揮でイスラエル・フィルとベルリン・フィルに、またダニエレ・ガットゥーの指揮でスカラ座管、リカルド・ムーティの指揮でウィーン・フィル、ロリン・マゼールの指揮でフィルハーモニア管に客演している。

これまでにワディム・レービン、マキシム・ヴェンゲーロフ、ジュリアン・ラクリン、ミッシェル・マイスキー、シュロモ・ミンツ、イヴリー・ギトリス、イダ・ヘンデル、チョン・キョンファ、シャロン・カム、ジャンヌ・ヌーヤンセン、マーティン・フrost、トルレイフ・テアーンら著名演奏家と共演。またザルツブルク、ヴェルビエ、ルフェルン、タンゲルウッド、ラヴィニア等の著名音楽祭に度々出演するほか、ドイツグラモフォン、ワーナー・クラシックス、デッカ、テルデック、EMI、ソニー・クラシカル等から数々のCDをリリースしている。1991年には若くしてマンハッタン音楽学校の教師陣に迎えられ、1994年からはパリ国立高等音楽院にて室内楽クラスの教授を務めている。パリ在住。様々な芸術活動に関わっている。



Itamar Golan

イタマール・ゴラン